



／ 看板は全て手作り！ ／

## 歩かまい稲武



5月に開催されたウォーキング大会「歩かまい稲武」。学生たちはいなぶまゆっこや商店街、抽選会などのお手伝いを行い、地域の方とたくさん交流しました。



## OPEN INABU

稲武で農業及び就業体験企画を行っている「OPEN INABU」のプロジェクトの一環として、林道整備とどんぐりの木の植樹に参加させていただきました。地元の方と一緒に汗を流して作業をする中で、自然とコミュニケーションが生まれ、意欲的な活動ができました。



## 糸引き体験イベント in 東山動植物園

東山動植物園での糸引き体験イベントでは、どうしたら来場者に興味を持ってもらえるかを考え、みんなで意見を出し合い工夫して取り組みました。糸引きを懐かしむご老人や、生糸のミサガを喜ぶ子どもたちの姿を見ることができ、イベントは大成功でした。（※写真は昨年の様子です。）



## 掃立・紙芝居 & クイズ

地元の小学生と一緒に「掃立」を見学し、その後は学生による紙芝居とクイズコーナーを開催。小学生に楽しく養蚕を学んでもらえるようチームで協力し、会場を盛り上げました。また、金田夫妻から糸引きを実際の場で教えていただき、技術も学びました。

## 先生からひとこと

学生たちにはこの実習で、伝統的な文化や技能を現代に継承することの大切さと難しさを感じ取ると共に、「どんな状況でも自ら道を切り拓くことができる力」を身につけてほしいと考えています。

今年は「いなぶまゆっこ」から「地域の活性化」まで活動が広がりました。これまでの実習が成果を上げ、学生たちの活動が認められていると感じています。求められる内容への対応も臨機応変に考える必要があります。こちらの目標設定を変えるなど枠に囚われず状況とニーズに応じていくことが、私の目指す地域貢献でもあります。これからもこの地域で活動させていただけることに感謝



堀田 裕子 教授

し、必要とされる活動を汲み取り、言われたこと以上のことを行う能力（主体性と創造力）の育成を目指していきたいと思っています。

化といった日本の社会全体が抱えている課題。一方、その背景にある高齢化や過疎化といった日本の社会全体が抱えている課題。一方、その背景にある高齢化や過疎化といった日本の社会全体が抱えている課題。

ら、活動を大変喜んでくださり、学生たちのパワーとアイデアを高く評価してくださっています。また、今年度はいなぶまゆっこの活動にとどまらず、稲武の地域イベント（『歩かまい稲武』、『OPEN INABU』）のお手伝いをしてほしいとお声をいただき、活動の範囲を拡大。飯田学部長も参加し、学生の人数も過去最多となりました。

実習を行った学生たちは、地域コミュニティの輪の中で活動することで、自らの立ち位置を自覚し、次第に主体性のある行動をとれるように変化していきました。稲武の人々の生き生きとした暮らしや家族のような絆を感じ、一方、その背景にある高齢化や過疎化といった日本の社会全体が抱えている課題。一方、その背景にある高齢化や過疎化といった日本の社会全体が抱えている課題。



- 1 地元の小学生を対象としたクイズコーナー。
- 2 蚕が糸を吐き出す間際に簇（まぶし）と呼ばれる蚕の家に入れ、そこで繭を形成していきます。
- 3 繭は非常に丈夫で軽いうえ手ざわりもよく、天然繊維の中で最もすぐれた繊維といわれます。

## 「いなぶまゆっこ」とは？

いなぶまゆっこは桑の育成から養蚕、繭づくり、作品制作に至るまでを一貫工程で行っている団体です。平成9年に誕生し、現在は主に8人のメンバーが活動しています。代表を務める金田平重さんは養蚕の指導を行い、奥様のちるのさんが糸引きや機織の技術指導を行っています。また、「まゆっこクラブ」では繭細工を中心に作品の展示・販売をしています。



金田 ちるのさん 金田 平重さん

る大きな課題にも目が向くようになった結果でしょう。稲武地区という生きた社会に入ることで、学生たちは多くの気付きや学びを吸収しました。稲武地区での現代マネジメント実習は「地域の活性化に貢献できる人材の育成」を教育目標に置く。本学の理念を具現化した取り組みです。フィールドが広がった今年度は、様々な世代や立場の方々と交流し、地域に対するそれぞれの思いや考えに触れ、改めて自分と地域社会との関わり方を考えさせられたことでしょう。今後はこうした経験を一過性のものに終わらせることなく、いかに自らの行動原理として定着させていけるかが大切です。

## 愛知学泉大学 現代マネジメント学部

# 稲武の伝統産業を学び、地域活性化を考える

現代マネジメント学部は豊田市稲武地区にある「いなぶまゆっこ（まゆっこクラブ）」と協働を続けています。今年は稲武地区のイベントにも参加し、地域社会から多くのことを学び取ってきました。

実習3年目。実績を積み重ね、地域貢献に発展

地域団体や企業、行政と連携し、学生自らが現場の方と一緒に課題解決に取り組む現代マネジメント実習。座学だけでは身につけられない実践力を育み、普段学んでいるマネジメント力、社会人基礎力の発揮、向上を目指しています。

豊田市の稲武地区にある養蚕と繭・シルクの作品制作を行う「いなぶまゆっこ（まゆっこクラブ）」はその実習先の一つです。今年で136回目となる伊勢神宮への献糸を行うなど、伝統ある技術を受け継ぎ守ってきた団体ですが、現在はメンバーの高齢化や後継者問題など深刻な課題を抱えています。

現代マネジメント学部ではいなぶまゆっこの協働を始め、今年で3年目を迎えます。例年、いなぶまゆっこの方に養蚕から糸引き、作品制作までを教えていただき、学内外で稲武の養蚕の周知活動を行ってきました。掃立（掃立）の蚕に初めて食事を与える儀式の際に行う地元の小学生を対象にした紙芝居やクイズコーナーは恒例となり、東山動植物園での糸引き体験イベントは都市部の様々な世代の方にクラブの活動を知ってもらう場になっていま